

アンケート調査等の結果及び新学部の検討について

高校生・事業者アンケートの結果について

【高校生アンケート結果①】

高校生が希望する進学先は国・公立大学が5割以上を占めている

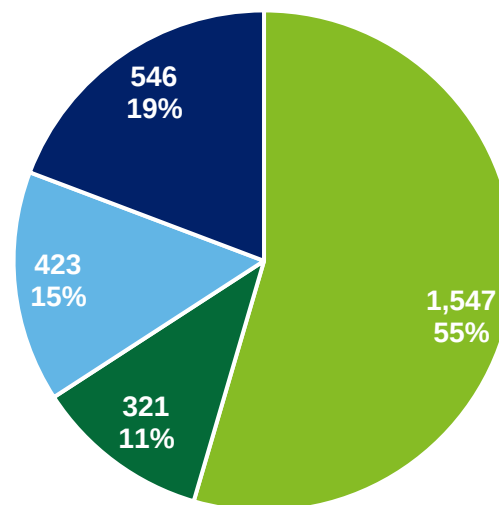
アンケート調査の概要

概要	■ 美作大学の公立化及び学部・学科に関するアンケート調査 ■ 回答期間：令和7年5月28日～令和7年6月13日 ■ 回 答 率：46.5%（3,308人/7,117人）
調査対象	■ 岡山・鳥取・島根・香川・高知・沖縄に所在する高校35校（県立30校、市立1校、私立4校）に在籍する2年生7,117名
学科	■ 普通科：75.4%、専門学科（工業・商業・農業等）：22.1%、総合学科：2.5%
進路	■ 大学：66.6%、短大：3.1%、専門学校：16.1%、就職：11.9%、その他：2.4%
性別	■ 男性：42.6%、女性：55.4%、無回答：2.0%
居住地区	■ 美作地域：23.5%、その他岡山県：25.2%、鳥取県：8.4%、島根県：9.3%、香川県：10.6%、高知県：11.5%、沖縄県：10.7%、その他地域：1.0%

出所：美作大学の公立化及び学部・学科に関するアンケート調査結果集計

地元高校生の希望する進学先

Q：進学を希望する学校の設置主体について、現時点で最もあてはまるものを1つ選択してください



■ 国・公立 ■ 私立 ■ どちらでもよい ■ まだ考えていない

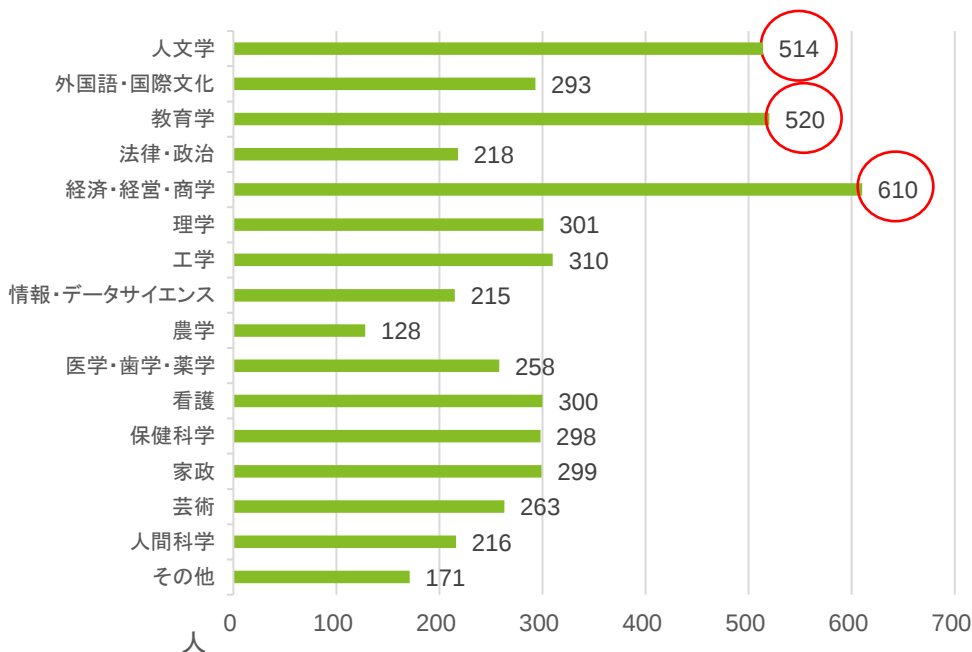
【高校生アンケート結果②】

男女の合計では、経済・経営・商学、教育学、人文学へ進学を希望する学生が多い

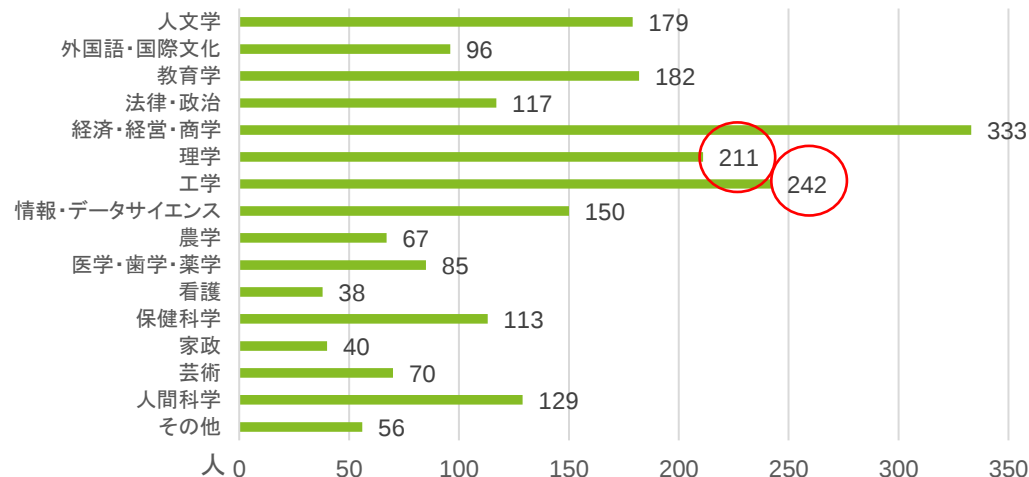
このほか、男子は「工学」「理学」など理系分野を選ぶ割合が高く、女子は「看護」「家政」など生活・福祉系分野を選ぶ割合が高い。

男女の進学を希望する分野（学科）

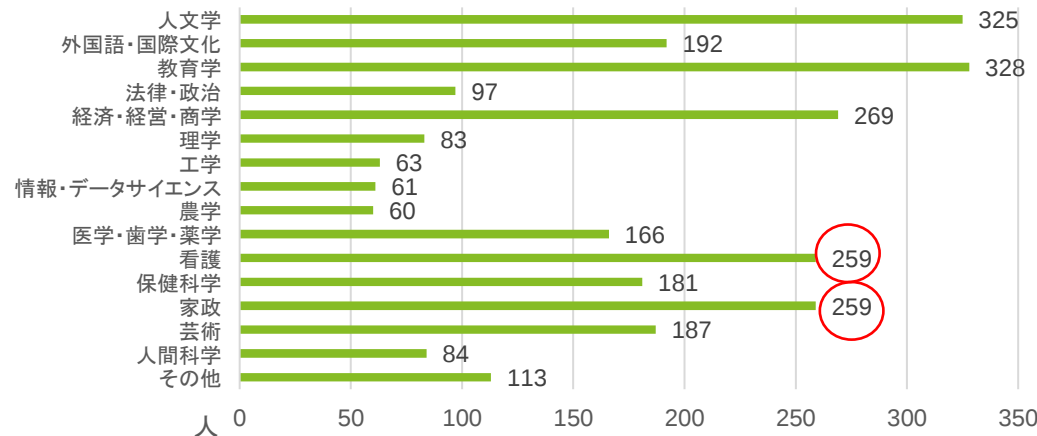
Q：あなたが進学を希望する分野（学科）を選択してください
(3つまで回答可)



男子の進学を希望する分野（学科）



女子の進学を希望する分野（学科）



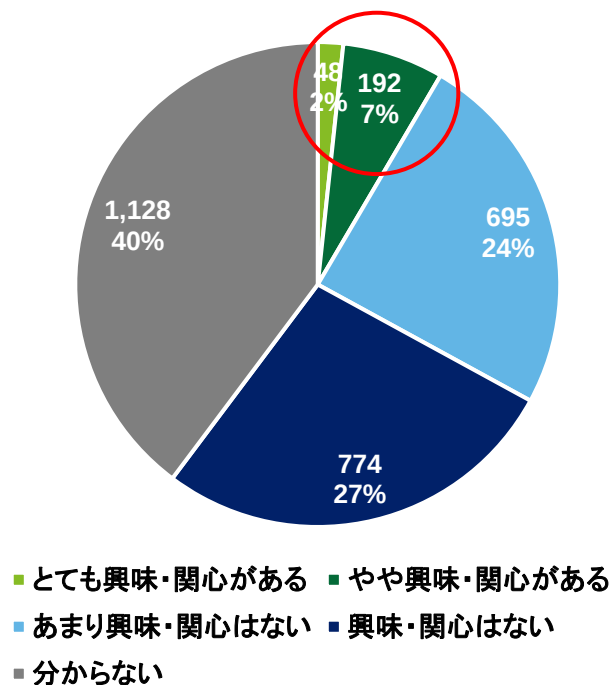
【高校生アンケート結果③】

美作大学が公立化すると、進学先として興味・関心を持つ学生の割合が2倍になる

現在の美作大学に「とても興味・関心がある」「やや興味・関心がある」と回答した学生は、全体の約1割であるが、公立化した場合、その割合が約2割に増え、関心を持つ学生が約2倍になっている。

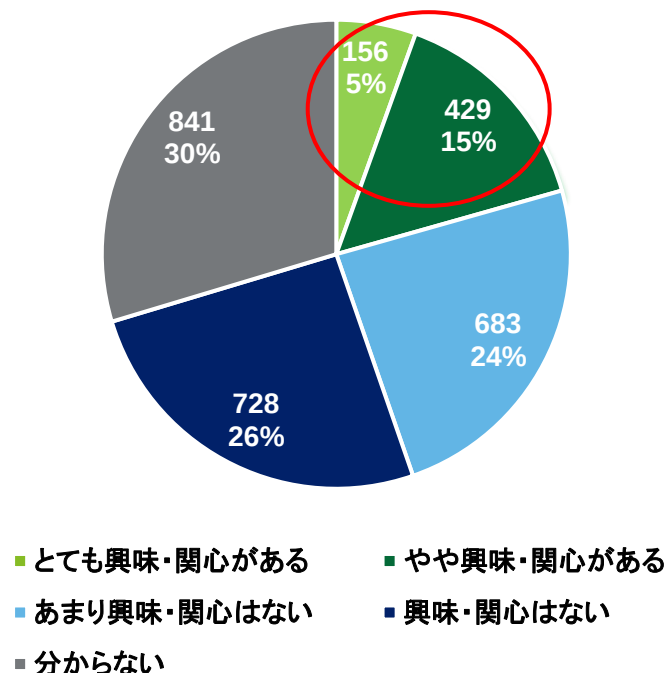
現在の美作大学への興味・関心

Q：現在の美作大学について、興味・関心がありますか



公立化後の美作大学への興味・関心

Q：美作大学が公立化した場合、進学先として興味・関心がありますか
(1つだけ回答可)



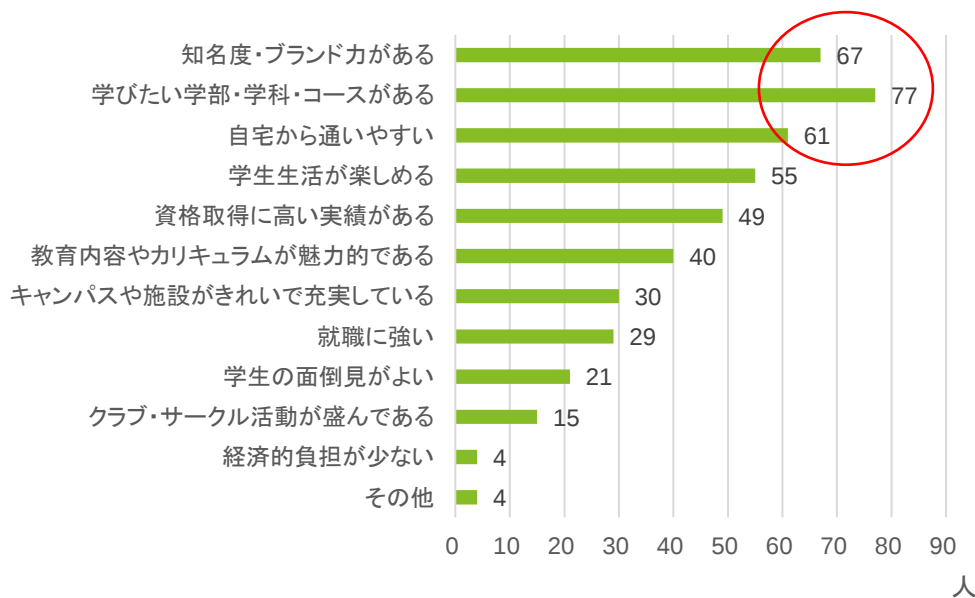
【高校生アンケート結果④】

現在の美作大学に興味・関心がある高校生は、学びたい分野があることや知名度、通学の利便性を評価している

「学びたい学部・学科・コースがある」という理由が最も多く、次いで「知名度・ブランド力がある」「自宅から通いやすい」といった点を魅力に感じている。また、大学の学科では児童学科への興味が高い

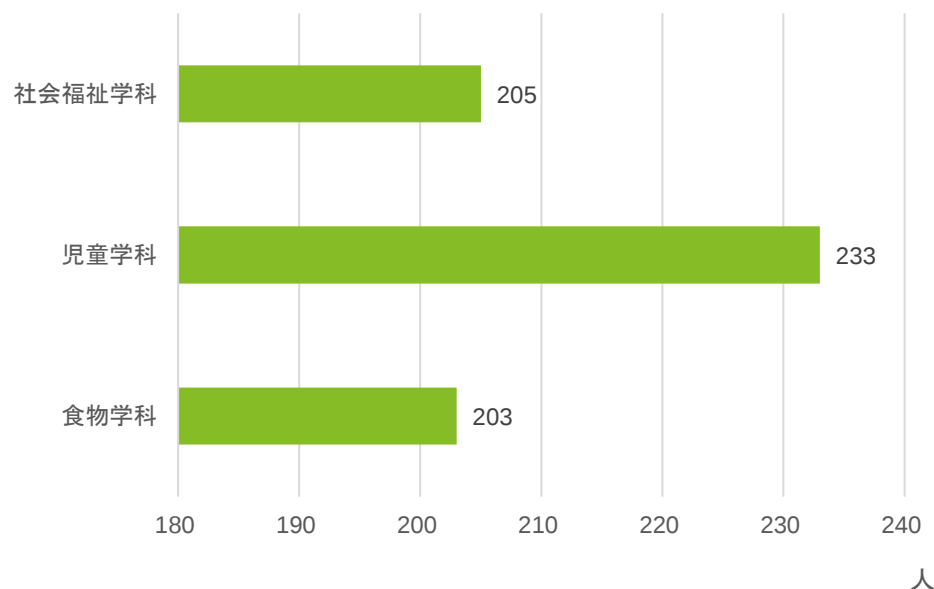
現在の美作大学に対する印象

Q：美作大学にどのような印象を持っていますか（3つまで回答可）



興味がある学科

Q：現在の美作大学のどの学科に興味がありますか（複数選択可）



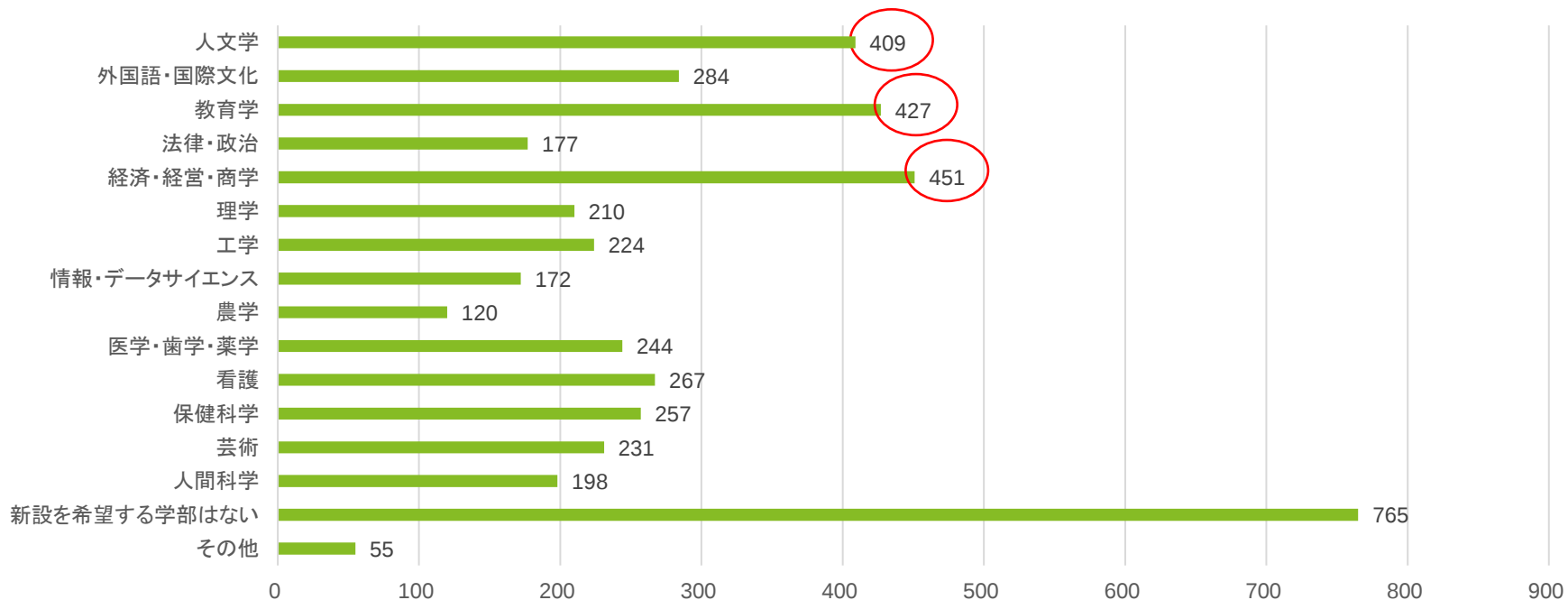
【高校生アンケート結果⑤】

公立化後の美作大学に新たに設置を希望する学部としては、男女の合計で経済・経営・商学、教育学、人文学の希望が多い

公立化後の美作大学に新たに設置を希望する学部は、「経済・経営・商学」「教育学」「人文学」が多く、4ページの「進学を希望する分野（学科）」と同じ傾向である。

学生が美作大学に新設を希望する学部

Q：公立化した美作大学に新たに設置を希望する学部はありますか（3つまで回答可能）



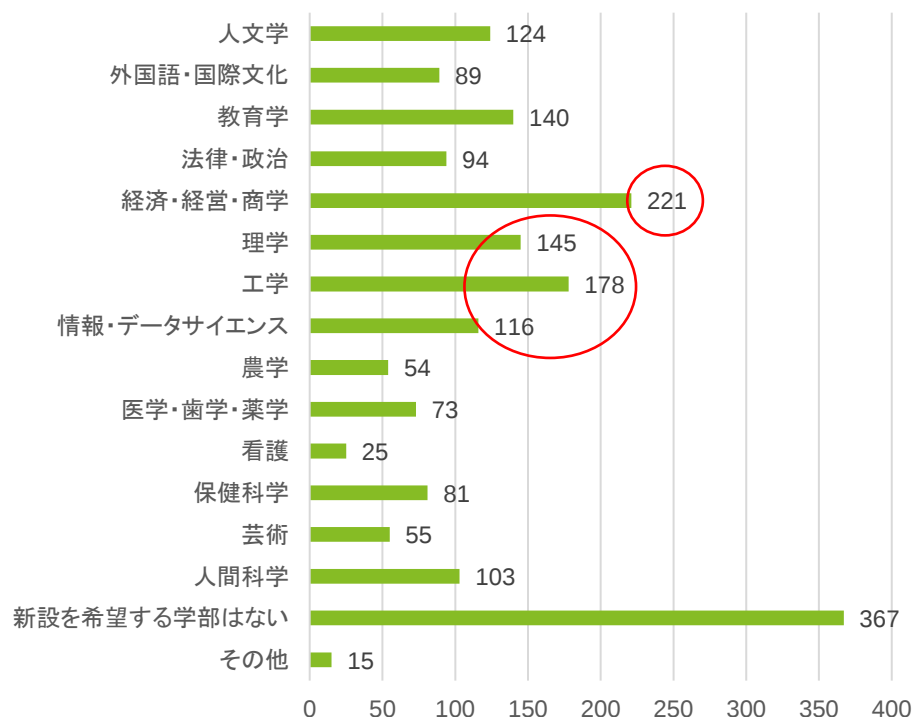
【高校生アンケート結果⑥】

男子は経済・経営・商学、工学、理学、女子は人文学、教育学、看護などの希望が多い

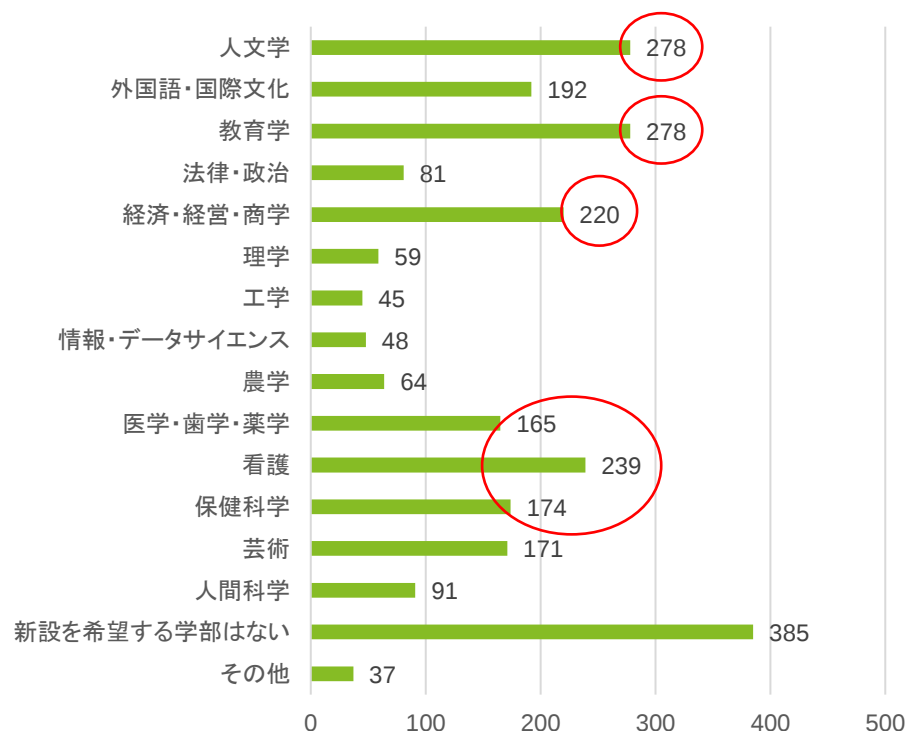
男子は理系分野への志向が強く、「工学」「理学」「情報・データサイエンス」などの分野も多く挙げられている。
一方、女子は「人文学」「教育学」のほか、「看護」「保健科学」など、医療福祉系分野への希望が多い。

Q：公立化した美作大学に新たに設置を希望する学部はありますか（3つまで回答可能）

男子が新設を希望する学部



女子が新設を希望する学部



【事業者アンケート結果①】

美作大学の公立化、採用意向等に関するアンケートを岡山県内の事業者を実施した

アンケート調査の概要

概要

- 美作大学の公立化、採用意向等に関するアンケート調査
- 回答期間：令和7年6月2日～令和7年6月13日
- 回答率：27.9%（128社/459社）

調査対象

- 津山圏域をはじめとする、岡山県内の459の事業者
(市内30人以上、市外50人以上の従業者、売上高10～500億円)

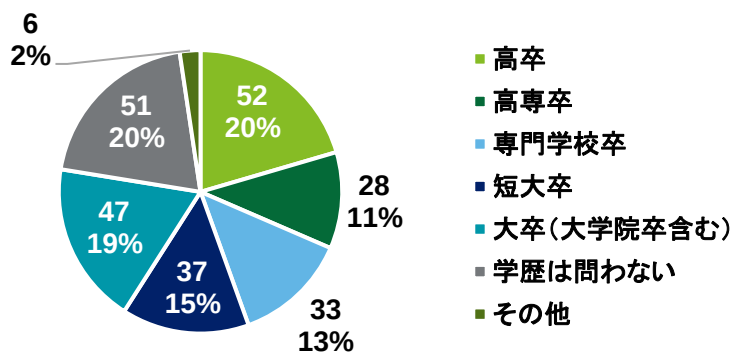
業種

- 製造業：34.4%、医療・福祉：24.2%、卸・小売業：16.4%、建設業：7%、その他：18%

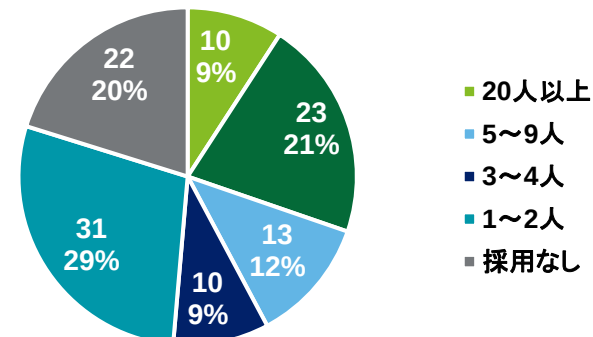
従業員数

- 201人以上：32%、101～200人：24.2%、71～100人：14.1%、51～70人：12.5%、50人以下：17.2%

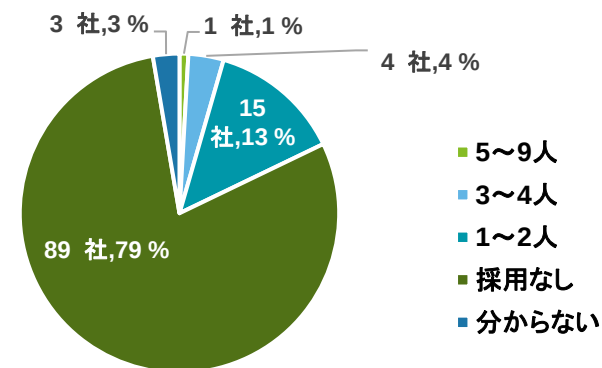
採用条件 (学歴)



過去3年間の 大卒採用数



過去3年間の 美作大学卒 業生の採用数



【事業者アンケート結果②】

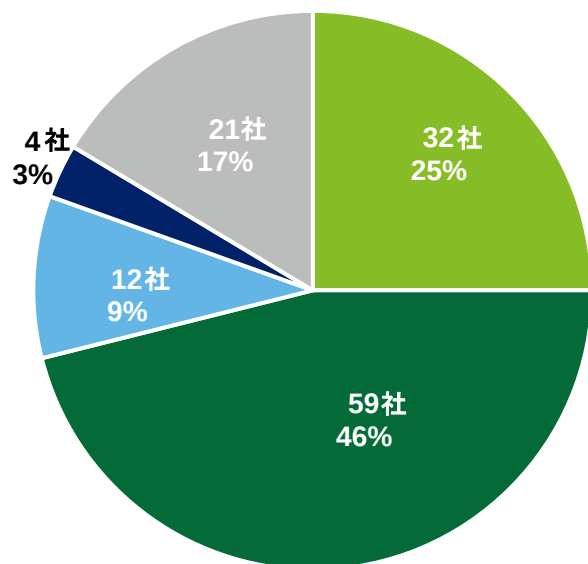
7割の事業者が公立化に期待しているが、公立化を懸念する声もある

事業者アンケートに回答した128社のうち約7割が公立化に期待を寄せており、優秀な学生の地元就職や地域の活性化、持続的な発展につながることを望む意見が多い。一方で、大学の今後の方向性や新たに設置される学部に関する意見、公立化を懸念する意見もある。

公立化に対する事業者の期待

71%（91社/128社）が公立化に期待している

Q：美作大学の公立化は、地域・大学の今後の発展に寄与すると思いますか



- とてもそう思う
- そう思う
- あまりそう思わない
- そう思わない
- 分からない

公立化に対する意見

そう思う

■ 学力水準が向上し、優秀な学生の地元定着への期待

- 公立化や、若者が魅力とを感じる学部の創設、地域に足りていない学部の創設により、県外からの入学者も増える。
- 普通科の理系の高校生の進学先は市外の大学や専門学校になっているので、それらの学生を市内に留められれば市外の流出を少しは抑えることができるのではないかと。

■ 地域の活性化、持続的発展への期待

- 若い力が地域に貢献することは地域の活性化・持続的発展につながる。
- 公立化により、全国から志望者が増えれば若者も増え、地域が活性化する。

わからない

■ 大学の存続に対する期待

- 美作大学がどんな形でも津山に残ってもらいたい。そして、児童学科の中で、保育士養成校として募集も津山市枠を設けてもらいたい。津山の希望者が入れるよう、又津山市の保育園で働きたいという人材を確保できたらいい。

そう思わない

■ 市外への若者流出の懸念

- 公立化により入学偏差値が上がり、津山地域の学生は競争にさらされ、県外の大学への進学が増える。公立大学でハイレベルの学習を修めた学生は、都会での就職を考え、結果、津山圏域からの若者の流出は止まらない。

■ 公立化そのものに対する懸念

- 津山高専や、岡山県内、近隣県にある大学・学部との差別化が図れるような学部でなければ、あまり需要はない。
- 私立、公立、国立は関係ない。

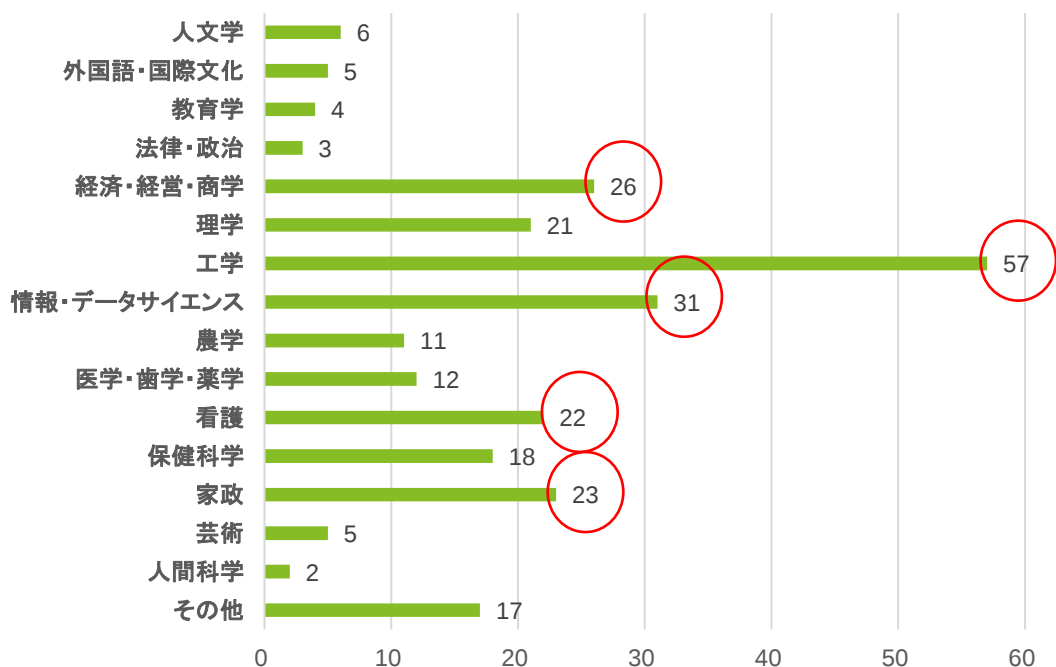
【事業者アンケート結果③】

工学、情報・データサイエンス、経済・経営・商学を専攻した学生の採用を望む企業が多い

大学でどのような分野を修めた人材が望ましいかという設問に対する回答では、「工学」「情報・データサイエンス」「経済・経営・商学」「家政」「看護」が上位5分野となった。

事業者が期待する専門分野

Q：採用にあたって、大学でどのような分野を修めた人材が望ましいと考えていますか



専門分野別の事業者が求める人材像

■ 工学分野の学生を望む事業者の傾向・意見

- 回答者は製造業、建設業の事業者が大半を占める。専門知識・技術を要するため学部新設を望む声も多い。積極的に採用したいとの声も多数ある。
- 県北には製造業も多く、理学や工学系の学部があると採用したいと考える企業が増えると思う。（製造業）

■ 情報データ・サイエンス分野の学生を望む事業者の傾向・意見

- 回答者は製造業、情報通信業が大半を占める。
- 地元大学から地元企業へ就職する人が少しでも増えることを希望する。（情報通信業）
- 若者の新しい考えを企業に取り入れ、イノベーションや新事業創出などへの貢献を期待する。（情報通信業）
- ある程度の収入が期待できるスキルを学べる学部が必要。（製造業）

■ 経済・経営・商学分野の学生を望む事業者の傾向・意見

- 回答者は製造業、卸売業、小売業、情報通信業と多岐にわたる。
- 津山市に大学があり、地元で進学する選択肢があることが大事。（情報通信業）

- 地方創生のリーダーを養成することを望む。（製造業）

■ 看護分野の学生を望む事業者の意見

- 回答者はほぼ医療・福祉事業者である。
- 県北で不足している看護師の育成を加えていくことで地域の医療を守ることにつながる。（医療・福祉）
- 看護学科を新設した場合、津山圏域以外の入学者が増え、津山圏域に残る人が減るのではと懸念する。（医療・福祉）

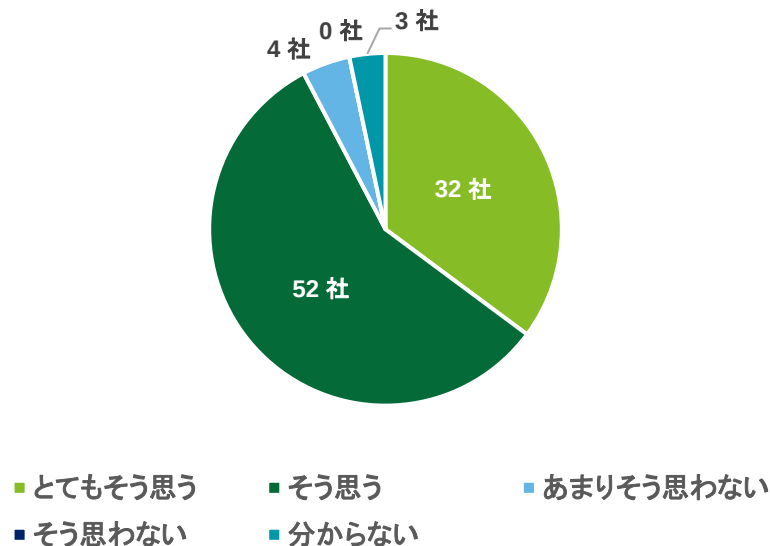
【事業者アンケート結果④】

9割以上の事業者が、公立化による新学部の設置は若者の地元定着や地域産業の発展に有効であると回答している

「公立大学に新たな学部を設置する場合、どのような学部が望ましいか」との設問に対する回答では、「工学」「情報・データサイエンス」「経済・経営・商学」が上位となった。

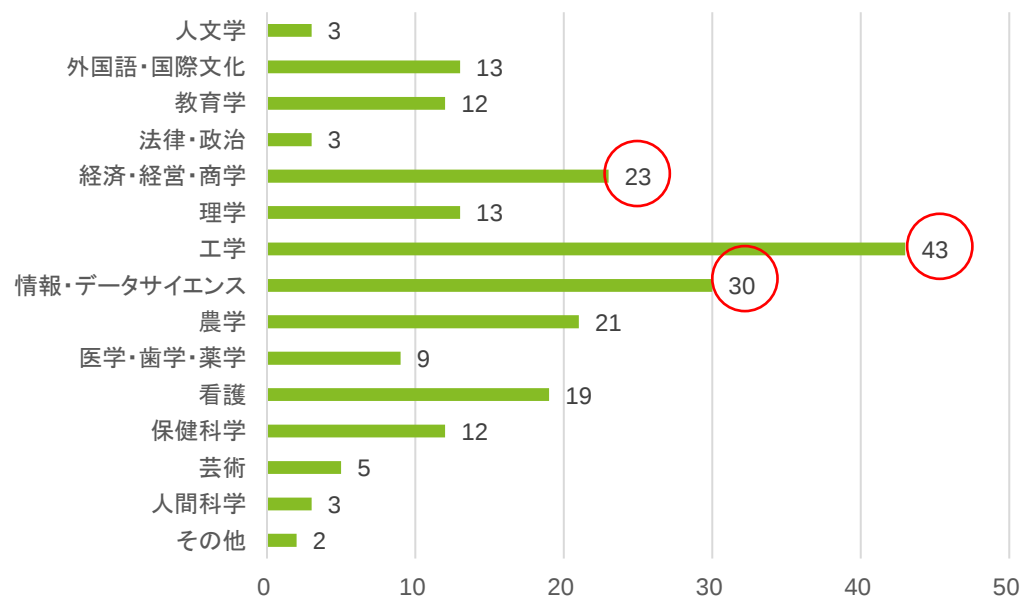
公立化する場合、新学部の設置について

Q：公立化する場合、新学部の設置は若者の地元定着や地域産業の発展に有効だと思いますか



事業者の望む新設学部

Q：公立大学に新たな学部を設置する場合、どのような学部が望ましいと思いますか



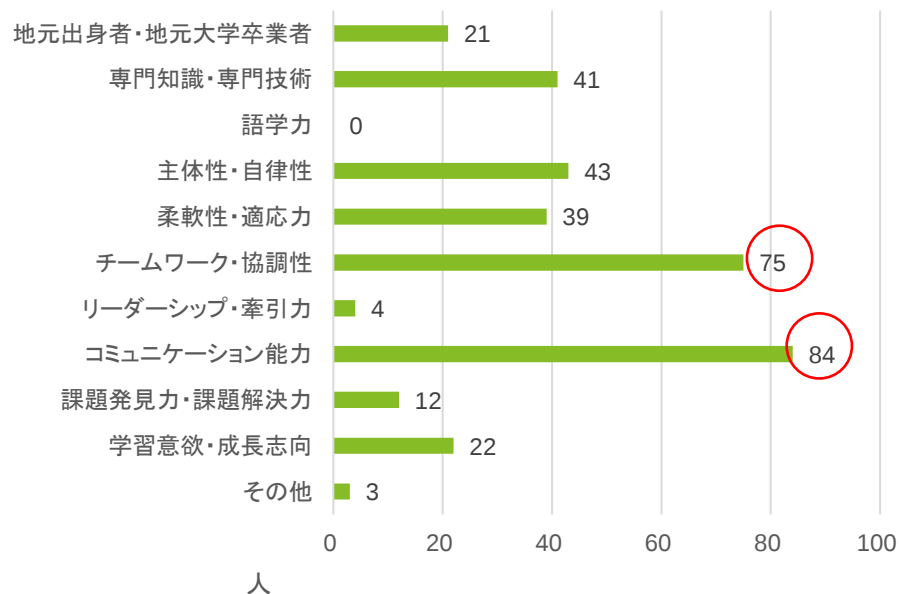
【事業者アンケート結果⑤】

事業者の採用意向についてのアンケートでは、大卒を望む事業者も多い

採用に当たっての学歴の条件は、高卒が最も多いが、大卒(大学院卒含む)を望む事業者も多い。
採用で重視する点は、「コミュニケーション能力」に次いで、「チームワーク・協調性」を求めている。

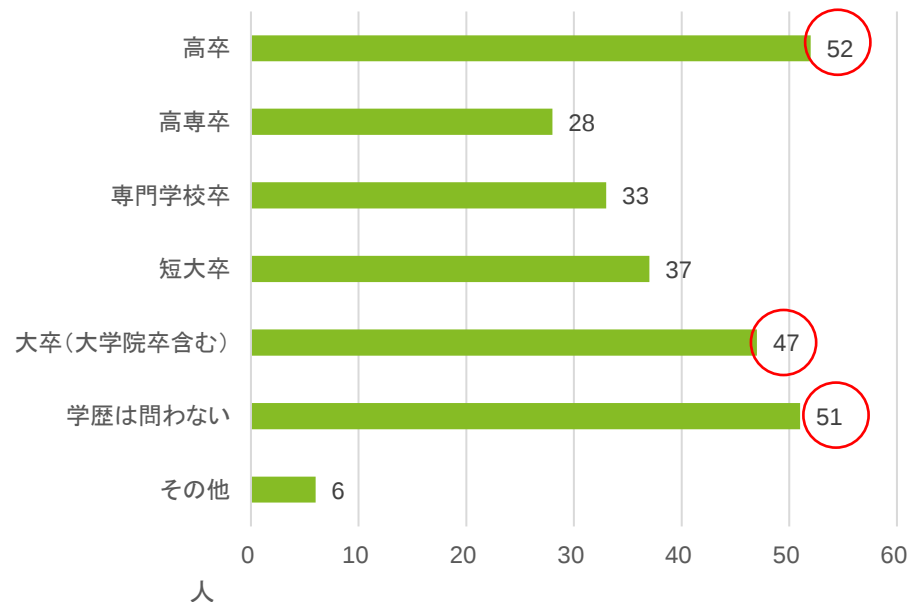
事業者の採用に重視する点

Q：人材を採用する際、どのような点を重視していますか（3つまで回答可能）



学歴条件

Q：採用に当たっての学歴の条件はありますか（複数選択可）



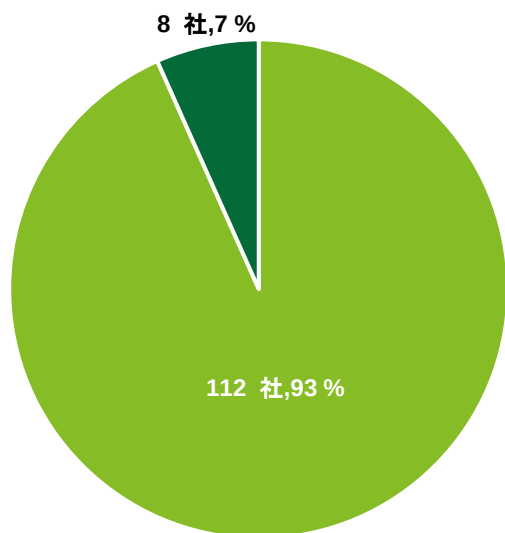
【事業者アンケート結果⑥】

過去3年間に大卒以上を採用した事業者は、全体の約8割にのぼる

過去3年間に採用を行った事業者は全体の9割以上にのぼる。そのうち、大卒以上を採用した事業者は、約8割に達している。

採用状況

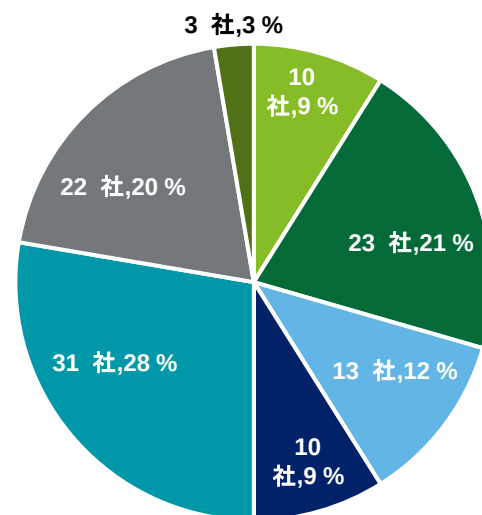
Q：過去3年間の採用状況についてお答えください



■ 採用した ■ 採用していない

大卒以上の採用数

Q：過去3年間の大学（大学院含む）卒業生の合計採用人数をお答えください



■ 20人以上 ■ 10～19人 ■ 5～9人 ■ 3～4人
■ 1～2人 ■ 採用なし ■ 分からない

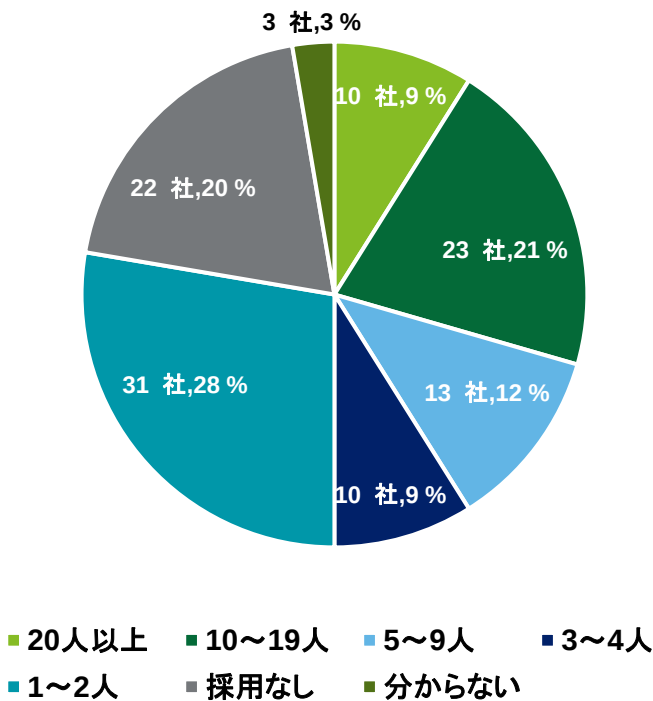
【事業者アンケート結果⑦】

大卒以上を採用した事業者のうち、美作大学出身者を採用した事業者は 2 割弱にとどまる

過去3年間に大卒以上を採用した事業者は約8割だが、そのうち美作大学出身者を採用した事業者は2割弱にとどまる。

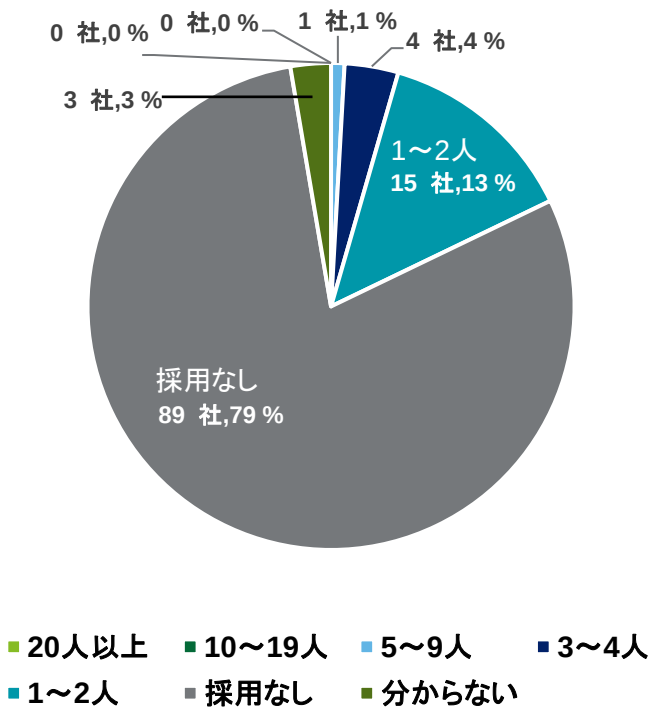
大卒以上の採用数（再掲）

Q：過去3年間の大学（大学院含む）卒業生の合計採用人数をお答えください



美作大学出身者の採用数

Q：美作大学（大学院含む）の卒業生の採用人数をお答えください



事業者ヒアリングの結果について

【事業者ヒアリング結果①】

多くの事業者が、美作大学の公立化や新学部を設置に対して期待を寄せている

事業者の多くが美作大学の学生に好印象を持っており、公立化にも前向きな姿勢を示していることから、公立化した場合は、インターンシップなどを通じた大学との連携がこれまで以上に期待できる。学部の新設については、事業者ごとに求める分野は異なるものの、看護学部や情報系学部の設置を望む声が幅広い業種から寄せられている。

事業者ヒアリング結果

ヒアリング項目	製造業	製造業	飲食サービス業	小売業	小売業
公立化に対する印象	- 優秀な学生が全国から集まることで、雇用へつながることが期待できる 地元学生比率低下による地元就職率低下を懸念	公立化すれば多くの人が津山市に来て、津山地域が活性化することが想定できる	人材の地域定着、地域貢献につながるものと期待している	公立化して美作大学が存続しないと、津山の存続が危ういと感じる。不動産・飲食等アルバイト人材がいなくなり経済面での影響が大きい	- 公立化により地域が活性化すると感じている - メリット以上のデメリットを感じていない
美作大学の学生に対する印象	採用した学生の勤務状況から、印象はよい	製造業であることから、現状の美作大学の卒業生と関りは少なく、印象は特にない	即戦力として働いてもらえるだけのスキルを大学で身につけているので、津山圏域で働いてもらいたい	会社での採用は少ないが、日常生活で接するアルバイト学生と接しても好印象である	しっかりしている印象であり、応募があればぜひ一緒に働きたい
学部の新設に対するニーズ・期待すること	- 製造業への採用につながる学部の新設 - 製造機器管理ができる人材を育成できる学部 - コミュニケーションスキル向上を図れる学部	工学系の理系学部 - 進学先に美作大学が選択肢に入るような学部を新設してほしい	津山という地域に即した学部を新設すると、卒業後も津山に定着し、既存の学部にも好影響を及ぼしてくれると感じている	- 津山市の人口構造を考慮すると、看護人材を育成できる看護学部 - 人の動きや流通における心理学を学べる学部	他の大学では学べないような目新しい学部を新設してほしい
公立化後における大学との連携	雇用につなげるため、インターンシップを行っていききたい	理系学部があれば、インターンシップ等で美作大学生を受け入れていきたい	地域貢献ができる大学と連携し、当社も共に地域に貢献していきたい	流通における心理学を学べる学部が新設されれば、連携できる	インターンシップで協力することが可能

【事業者ヒアリング結果②】

多くの事業者が、美作大学の公立化や新学部の設置に対して期待を寄せている

事業者の多くが美作大学の学生に好印象を持っており、公立化にも前向きな姿勢を示していることから、公立化した場合は、インターンシップなどを通じた大学との連携がこれまで以上に期待できる。学部の新設については、事業者ごとに求める分野は異なるものの、看護学部や情報系学部の設置を望む声が幅広い業種から寄せられている。

事業者ヒアリング結果

ヒアリング項目	林業	社会福祉法人	保育園	病院	システム業
公立化に対する印象	- 優秀な学生を集めることができる - 地元就職率の低下を懸念している	- 全国から優秀な学生が集まることを期待している - 公立化により地域活性化や経済波及効果が期待できる	- 公立化して、全国から学生が集まることにより地域が活性化することを期待している - 税金の投入を懸念している	- 地域インフラとして必要なのは承知しているが、中期目標についてシビアに評価すべきである - 税金投入により大学経営が甘くなることを懸念	安価な授業料等により全国から優秀な学生が津山に入ってくるようになる。これは津山地域にとって大きい
美作大学の学生に対する印象	過去に採用した美作大学出身者は優秀であり、印象はよい	過去に採用した美作大学出身者は仕事ができ、とても優秀で津山市が好きで、とても好印象	地元学生が働いていることによる安心感がある	美作大学の学生の就職は時々ある。勤務態度はよいため好印象	- 津山の地域で活躍している学生が多い - 専門職に限らず、事務職としても活躍しているイメージ
学部の新設に対するニーズ・期待すること	林業を行っている立場から、林業・農業に関する雇用を創出するための学部を設置してほしい	- データサイエンス・AIを使いこなす人材を育成する学部 - グローバル人材を育成する外国語学部	- 保育園運営に関係のある心理学系の学部 - 今後の高齢化社会を踏まえた看護系や保健学系の学部	- 看護師が増えるように看護学部を新設してほしい - 差別化できるように珍しい国家資格を取れる学部	- システム開発の知識を学べる学部や今後の社会で必要となるデータサイエンスを学べる学部 - 文系で、広く就職できるような学部
公立化後における大学との連携	大学からの提案があれば、連携可能	地域包括ケアシステムや地域共生社会の在り方を検討する中で、連携できる学部があれば連携可能	児童学科の学生を実習等で受け入れることによる連携可能	看護学科といった関連性のある学部があれば、インターンシップ等で連携することが可能	システム開発にて他業種の方の話を聞きながら開発する場合もある。その機会として連携できるところがあれば、協力したい

新学部の検討について

【新学部の検討について- 総括】

人文学、教育学、経済・経営・商学、理学、工学、情報・データサイエンス、看護の計7分野に絞って検討を行う

新学部設置の検討に当たっては、高校生アンケートの男女別順位または事業者アンケートの順位のいずれかで上位3分野に入った学部を対象としている。これらの学部について、地域性・将来性・経営面の3つの観点から、次ページ以降で詳細な検討を行う。

検討対象とする学部・学科案の整理

学部・学科案	地域ニーズ・需要			
	高校生アンケート		事業者アンケート	(参考) 事業者ヒアリング
	男子	女子		
人文学	○	◎	-	△
教育学	○	◎	△	△
経済・経営・商学	◎	○	◎	△
理学	◎	-	○	○
工学	◎	-	◎	○
情報・データサイエンス	○	-	◎	◎
看護	-	◎	○	◎

※記号については、アンケート結果をもとに以下の基準で設定している。

◎：1~3位、○：4~6位、△：7~10位、-：11~14位

【新学部の検討について- 人文学】

人文学は高校生からの要望が多いものの、事業者からのニーズは限定的であり、地域性・将来性・経営面のいずれの面からも課題がある

人文学の検討

検討学部	人文学		総合評価	△
評価項目	評価結果	検討内容		
高校生アンケート	男：○ 女：◎	・高校生アンケートの「公立化した美作大学に新たに設置を希望する学部はありますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 - 順位結果→男子生徒：5位/14位、女子生徒：1位/14位		
事業者アンケート	-	・事業者アンケートの「公立大学に新たな学部を設置する場合、どのような学部が望ましいと思いますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 - 順位結果→12位/14位		
(参考) 事業者ヒアリング	△	・少数意見として、「文系学部で、どの業界にも就職できるような一般的な学部を設置してほしい」という意見があり、人文学系はこれに該当する。 ・流通や保育園の関係から心理学系の学部の需要もある。		
地域性	△	・津山市や岡山県北部の主要産業（福祉・医療・製造など）との直接的な結びつきは弱い。 ・地域の歴史・文化資源を活かした教育や観光振興などへの貢献は期待できるものの、即戦力となる人材需要が高い分野ではない。 ・県内に人文学系学部が複数存在し、独自性や明確な強みを打ち出しにくい。		
将来性	△	・人文学部は幅広い教養や汎用的なスキルを身につけられ、卒業生は多様な業種での就職が可能だが、専門職系の学部と比べて地域内での明確な人材需要は低い。 ・全国的にも人文学部の志願者数は減少傾向にある。		
経営面	△	・競合する大学が多く、学生数減少傾向の中、安定運営には学生確保や定員維持に課題がある。 ・理系学部に比べて運営・施設コストは低いが、地方交付税単価も低く、財政的なメリットは限定的である。		

【新学部の検討について- 教育学】

教育学は高校生からの要望が多く、将来的には津山市や県北地域に貢献できる人材の育成が期待できる一方で、安定した学生確保や経営面で課題がある

教育学の検討

検討学部	教育学	総合評価	○
評価項目	評価結果	検討内容	
高校生アンケート	男：○ 女：◎	・高校生アンケートの「公立化した美作大学に新たに設置を希望する学部はありますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 順位結果→男子生徒：4位/14位、女子生徒：1位/14位	
事業者アンケート	△	・事業者アンケートの「公立大学に新たな学部を設置する場合、どのような学部が望ましいと思いますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 順位結果→8位/14位	
(参考) 事業者ヒアリング	△	・少数意見として、「文系学部で、どの業界にも就職できるような一般的な学部を設置してほしい」という意見があり、教育学系はこれに該当する。	
地域性	◎	・岡山県北地域では教員不足が深刻な社会課題となっており、地域に根差した教員養成プログラム（岡山大学「県北地域教育プログラム」）も設置されている状況。 ・地元定着率向上や地域課題解決に直結するため、地元出身者の教員養成は、行政・教育現場からのニーズが極めて高い。 ・既存学部との親和性が高く、地域に根差した人材の育成が可能。	
将来性	○	・全国的には少子化の影響で教員採用数が減少傾向にあるが、岡山県北など地方では今後も教員需要が安定して見込まれる。 ・特別支援や幼児教育など新たな教育分野への対応も求められている。	
経営面	△	・全国的に教員志願者が減少しており、志願者や定員の確保が課題となる。 ・県内に教育学部を持つ大学が複数存在し、競合も多い。 ・理系学部に比べて運営・施設コストは低い、地方交付税単価も低い。	

【新学部の検討について- 経済・経営・商学】

経済・経営・商学は高校生・事業者の双方から要望が寄せられており、将来的にも地域に貢献できる人材を育成できる一方で、他大学との差別化や経営面での課題がある

経済・経営・商学の検討

検討学部	経済・経営・商学	総合評価	○
評価項目	評価結果	検討内容	
高校生アンケート	男：◎ 女：○	・高校生アンケートの「公立化した美作大学に新たに設置を希望する学部はありますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 順位結果→男子生徒：1位/14位、女子生徒：4位/14位	
事業者アンケート	◎	・事業者アンケートの「公立大学に新たな学部を設置する場合、どのような学部が望ましいと思いますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 順位結果→3位/14位	
(参考) 事業者ヒアリング	△	・少数意見として、「文系学部で、どの業界にも就職できるような一般的な学部を設置してほしい」という意見があり、経済・経営・商学系はこれに該当する。	
地域性	○	・地域企業からのニーズは一定程度あり、 地域経済の活性化や企業活動の強化に貢献できる。 ・県内に同系統学部が複数存在し、独自性や地域企業との連携などによる地域密着型の魅力づくりが課題となる。	
将来性	○	・幅広い業種での就職が可能で、 今後もビジネス人材への安定的な需要が見込まれる。 ・AI活用やデータサイエンス、グローバル化などに対応できる 新たなビジネススキルの習得が期待されており、教育内容の変革が求められている。	
経営面	△	・理系学部に比べて設備投資や運営コストが抑えられ、定員も多く設定できるため経営効率は良い。 ・ 地方の小規模大学にとっては、過大な定員設定を行った場合、結果として定員割れや経営悪化リスクが高まる。 ・地方交付税単価が最も低い。	

【新学部の検討について- 理学】

理学は男子生徒や事業者からの要望が比較的多く、一定の将来性が見込まれる一方で、地域との結び付きや設備投資などの経営面で課題がある

理学の検討

検討学部	理学		総合評価	△
評価項目	評価結果	検討内容		
高校生アンケート	男：◎ 女：-	・高校生アンケートの「公立化した美作大学に新たに設置を希望する学部はありますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 - 順位結果→男子生徒：3位/14位、女子生徒：12位/14位		
事業者アンケート	○	・事業者アンケートの「公立大学に新たな学部を設置する場合、どのような学部が望ましいと思いますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 - 順位結果→6位/14位		
(参考) 事業者ヒアリング	○	・林業の事業者から、林業・農業に関する雇用の創出を希望する声があり、理学系の学部生に一定の需要がある。		
地域性	△	・津山市や岡山県北部の主要産業（福祉・医療・製造など）との直接的な結びつきは弱く、理学系人材の地域内需要は限定的。 ・地域企業からの即戦力ニーズは工学や情報系に比べて低い。		
将来性	○	・理学部は基礎科学の素養を持つ人材を輩出し、多様な進路がある。 ・専門性が高く、就職先の多くは都市部や大手企業に集中しがちで、地元企業とのマッチングや地域定着が課題となる。 ・国の理系人材育成政策や学部転換支援の対象となる分野で、全国的には将来性が見込まれるが、地域限定で見ると専門職需要が高い分野ではない。		
経営面	△	・全国的に理学部志願者は減少傾向で、経営の安定性に課題が残る。 ・地方交付税単価は理系学部として高い水準にあるが、実験設備や研究施設など初期・維持コストが高く、運営費も大きい。		

【新学部の検討について- 工学】

工学は男子生徒や事業者からの要望が多く地域との関連性や将来性の面でも期待が寄せられている一方で、設備投資などの経営面で課題がある

工学の検討

検討学部	工学		総合評価	◎
評価項目	評価結果	検討内容		
高校生アンケート	男：◎ 女：-	・高校生アンケートの「公立化した美作大学に新たに設置を希望する学部はありますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 - 順位結果→男子生徒：2位/14位、女子生徒：14位/14位		
事業者アンケート	◎	・事業者アンケートの「公立大学に新たな学部を設置する場合、どのような学部が望ましいと思いますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 - 順位結果→1位/14位		
(参考) 事業者ヒアリング	○	・製造業の事業者から、製造機器管理の人員や工学知識を有する人材の育成として工学部を要望する声がある。		
地域性	◎	・製造業が集積し、工学系人材の活躍の場が豊富である。 ・産学官連携や地元企業の共同研究、技術革新の拠点形成などの面でも地域的意義は大きい。 ・高専との競合のおそれがあるが、相乗効果を生み出す可能性もある。		
将来性	◎	・今後も技術者需要は拡大が見込まれており、国の理系人材育成政策とも合致している。 ・地域経済の活性化や新規雇用創出にも貢献できる可能性がある。		
経営面	△	・県内に工学部を持つ大学が複数あり、競合も存在するため、学生確保には特色づくりが必要となる。 ・地方交付税単価は理系学部として高い水準にあるが、実験設備や研究施設など初期・維持コストが高く、運営費も大きい。		

【新学部の検討について- 情報・データサイエンス】

情報・データサイエンス学は事業者からの要望が多く、地域との関連性や将来性からも期待が高い。経営面においても、他の理系学部と比較して安定した運営が見込まれる

情報・データサイエンス学部の検討

検討学部	情報・データサイエンス	総合評価	◎
評価項目	評価結果	検討内容	
高校生アンケート	男：○ 女：-	・高校生アンケートの「公立化した美作大学に新たに設置を希望する学部はありますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 順位結果→男子生徒：6位/14位、女子生徒：13位/14位	
事業者アンケート	◎	・事業者アンケートの「公立大学に新たな学部を設置する場合、どのような学部が望ましいと思いますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 順位結果→2位/14位	
(参考) 事業者ヒアリング	◎	・システム業からはデータサイエンスを学べる学部設置の要望がある。 ・また、システム業以外からも、データ分析やAI活用ができる人材として情報・データサイエンス系の学部設置の要望がある。	
地域性	○	・地域企業や行政でもDX推進や業務効率化への関心が一層高まっている。 ・データサイエンス人材へのニーズは拡大しているが、都市部に比べると即戦力需要は限定的で、地域企業の受け入れ体制や活用度には差がある。	
将来性	◎	・全国的にデータサイエンティストやデータエンジニアの需要は急増しており、今後もAI・DXの進展とともに拡大が続くと予想される。 ・地域経済のデジタル化が進展すれば、情報・データサイエンス人材活躍の場はさらに拡大する可能性がある。 ・多様な業界に活躍の場が広がっている。	
経営面	○	・理系学部としては比較的運営コストが抑えられる。 ・全国的に人気分野であり、定員が比較的確保しやすい分野であるが、競合校も増加しているため、教員の確保やカリキュラムの高度化・専門化や産業界との連携強化など、実践的な教育体制の構築が課題となる。	

【新学部の検討について- 看護】

看護は女子生徒や事業者からの要望が多く、地域貢献性や将来性の面でも期待が寄せられている一方で、設備投資などの経営面で課題がある

看護の検討

検討学部	看護	総合評価	◎
評価項目	評価結果	検討内容	
高校生アンケート	男：- 女：◎	・高校生アンケートの「公立化した美作大学に新たに設置を希望する学部はありますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 - 順位結果→男子生徒：14位/14位、女子生徒：3位/14位	
事業者アンケート	○	・事業者アンケートの「公立大学に新たな学部を設置する場合、どのような学部が望ましいと思いますか」との質問への回答を要望が多い順に集計して判定している。 - 順位結果→5位/14位	
(参考) 事業者ヒアリング	◎	・病院から、看護師確保のため看護学部設置の要望がある。 ・将来的な津山市の高齢化を見据え、病院以外の事業者からも看護師を育成できる看護学部の設置が必要と考える声があった。	
地域性	◎	・岡山県は人口10万人当たりの看護師数が全国平均を大きく上回り、医療施設数も全国平均を上回っている。 ・医療の高度化や地域包括ケアシステムなど新たな医療ニーズへの対応が求められている。 ・県北部や中山間地域では、今後も看護職員の安定的な確保・育成が地域医療の持続に不可欠とされている。 ・専門学校や高校（専攻科）が定員割れの傾向にある。 ・全国的に看護師は不足しており、地域定着には課題がある。	
将来性	◎	・看護職員の需要は今後も高水準で推移する見通しで、看護職の役割は拡大傾向である。 ・全国的にも看護師不足が続いており、将来性は高い。	
経営面	△	・実習施設やシミュレーション設備など一定の設備投資が必要となる。 ・看護学部がある大学や専門学校が県内には多く、競合による学生確保が課題となる。 ・地方交付税単価も比較的高いが、教員を手厚く配置する傾向があり、運営コストは高い。	

【新学部の検討について- 総括】

検討の結果、総合的に判断すると、「工学」「情報・データサイエンス」「看護」の3分野が高評価となっている

新たな学部・学科案の整理

学部・学科案	総合評価	地域ニーズ・需要					将来性	経営面
		高校生アンケート		事業者アンケート	(参考) 事業者ヒアリング	地域性		
		男子	女子					
人文学	△	○	◎	-	△	△	△	△
教育学	○	○	◎	△	△	◎	○	△
経済・経営・商学	○	◎	○	◎	△	○	○	△
理学	△	◎	-	○	○	△	○	△
工学	◎	◎	-	◎	○	◎	◎	△
情報・データサイエンス	◎	○	-	◎	◎	○	◎	○
看護	◎	-	◎	○	◎	◎	◎	△

地域の稼ぎや雇用を支えている産業 ～産業別付加価値額の状況～

【付加価値額】売上から原材料費など外部調達価格を除いた額

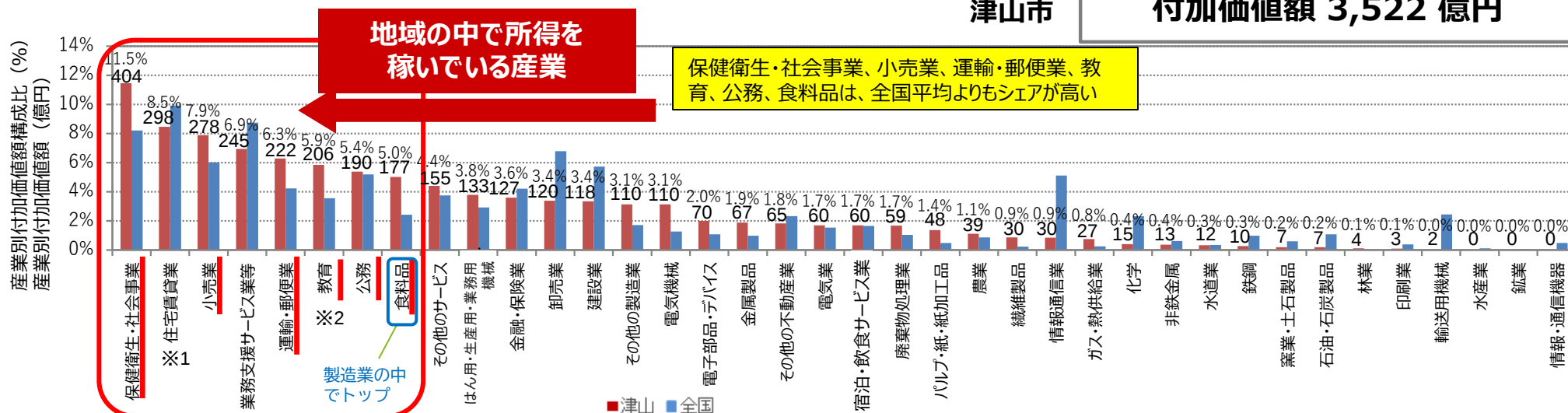
- 津山市で**稼ぎの総額が多く、雇用や所得を支えている産業**
 - ・ 産業別の合算では製造業がトップだが、有力企業には本社が市外にある大手企業が多い。
 - ・ 非製造業のうち、保健衛生・社会事業、小売業、業務支援サービス業などの稼ぎの総額が多い。
- 更に**全国平均よりも稼ぎの総額の構成比が高い産業**
製造業（合算）、保健衛生・社会事業、小売業 など
- **全国平均よりも稼ぎの総額の構成比が低い産業**
業務支援サービス業、卸売業、建設業、情報通信業 など

課題・対策等

- **付加価値額の大きい産業には労働集約型が多く、労働生産性は低い傾向で、デジタル技術、ロボット等を活用した自動化・省人化による業務効率向上を支援する。**
- **製造業以外の産業ではエッセンシャルワーカーが多く、地域での生活を支える上で、担い手の確保・育成を図る。**

津山市

付加価値額 3,522 億円



※1 住宅賃貸業の大半は、自己所有の住宅を自身に賃貸しているものとみなして計算されている「帰属家賃」であるため、今回は分析の対象外としている。

※2 小・中学校、高専など、国公立の学校を含む。